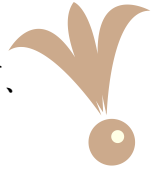


新年明けましておめでとうございます。

日頃から佐渡米をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

引き続き皆様にご満足いただけるよう、一所懸命取り組んでいきますので、

本年もよろしくお願い申し上げます。



2012年 島内4大ニュース

1、島内の24年産米の収穫状況について

佐渡産の24年産米は登熟・穂数ともに平年並みでしたが、一等米比率は約57.0%（11月28日時点）と低くなりました。格落ちの原因としては、高温が原因と考えられる「基部未熟」や「カメムシ被害粒」の混入がありました。25年の米づくりでは気象変動に左右されないように土づくりを行うことと、カメムシ対応としては防除回数を増やさずに被害に合わないための適期防除を行うことを実践していきます。



2、36年ぶりに自然界で朱鷺のヒナ誕生

昨年は自然界で朱鷺のヒナが誕生し、全国ニュースで放送されるなど話題となりました。日本で朱鷺のヒナが孵化した事例は1976年以来実に36年ぶりで、昨年は3カップルから8羽が誕生・巣立ちを迎えることができました。国内産の朱鷺は絶滅し、08年から始まった放鳥以降、カラスに卵を持ち去られたり、巣を放棄してしまうツガイがいたりするなど、いくつかのハードルを乗り越えた中での二世誕生は大変喜ばしいニュースでした。現在、巣立ったヒナは親と変わらぬ大きさにまで成長し、佐渡の空を元気に飛び回っています。



3、アイセバ（農業国際会議）佐渡市で開催

「生物の多様性を育む農業国際会議（通称：ICEBA〈アイセバ〉）」が佐渡で開催され、日本・中国・韓国の3ヶ国から総勢400名が参加しました。7月16～18日の3日間、同時通訳を介しながら分科会での議論の他、トキに関する意見交換会や水田視察、生きもの調査に取り組みました。



4、佐渡島固有種“サドガエル”と命名

佐渡の田んぼで見つかったカエルが、島固有の新種であると、大学の研究で明らかになり「サドガエル」と命名されました。広島大の三浦准教授によれば、少なくとも佐渡に約10万年以上前から生息しており、佐渡に固有種はいないという従来の見方を変える結果となったと伝えています。佐渡のごくわずかな場所に生息するサドガエルは、今後絶滅危惧種を指定するレッドリストへの掲載も検討しているとのこと。

